

共同研究体制をさらに拡大

東京農業大学と包括連携協定を締結

>>>2019. 11. 01

株式会社アルビオン(東京都 中央区、小林 章一 代表取締役社長) は、東京農業大学(東京都 世田谷区、高野 克己 学長)と、新規有用性植物の探索・分析・解析 や肌への効能研究を行い、化粧品および関連産業における応用・実用化に向けて包括連携協定を結びましたのでお知らせいたします。

アルビオンは、2013年4月1日に、東京農業大学 生物産業学部(北海道・網走、オホーツクキャンパス内)との連携協定を締結し、同年11月に寄附講座『企業と学ぶ化粧品学』を開設。同講座を通じて連携・共同研究を進めながら、2014年には初の海外研究拠点となるスリランカ伝統植物研究所を共同開設いたしました。その後も寄附講座とスリランカ伝統植物研究所を中心に共同研究と交流を深めてまいりました。両者は、近年のこの順調な歩みを鑑み、今後のさらなる発展が期待できることの認識が一致したため、今までの生物産業学部と締結していた連携協定を拡大強化し、この度新たに、東京農業大学とアルビオンとの包括連携協定を締結する運びとなりました。これによって、同大学 生物産業学部に限らず全学部(6学部23学科)とアルビオンでの連携を強化、相互にとっての新たな可能性を広げてまいります。

アルビオンの小林 章一 代表取締役社長 は、「この連携を通して、今まで以上に絆を深めながら、共同研究の拡大につなげてまいります。まだ実用化されていないまったく新しい化粧品成分や商品開発を目指すとともに、国内外で活躍する人材の育成にも注力して、大学のため、学生のため、アルビオンのためになる有益な取り組みを積極的に進めてまいります。」と挨拶しました。



調印式の様子

左:東京農業大学 高野 克己 学長/右:アルビオン 小林 章一代表取締役社長

■資料

アルビオン×東京農業大学 連携のあゆみ

- 2010年4月 生物産業学部食品科学科を『食品香粧学科（現食香粧化学科）』に改称
- 2012年1月 ヨモギの成分や機能性に関する共同研究を開始
- 2013年4月 東京農業大学生物産業学部とアルビオンで包括連携協定締結
スリランカ初訪問
- 2013年11月 生物産業学部食品香粧学科に寄附講座開設『企業と学ぶ化粧学』
- 2014年4月 『スリランカ伝統植物研究所』開設
『美味しいお米プロジェクト』始動
小林 章一社長 東京農業大学客員教授に就任
- 2017年12月 スリランカ有用植物産業化コンソーシアム設立

【東京農業大学】

所在地：東京都世田谷区桜丘1-1-1

創業：1891年

大学長：農学博士 高野 克己

【株式会社アルビオン】

所在地：東京都中央区銀座1-7-10

創業：1956年3月2日

資本金：7億6098万円

代表：代表取締役社長 小林 章一

従業員数：3700名